

南風見苑清掃ボランティア活動

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう。

礼儀
積極的にかかわる力

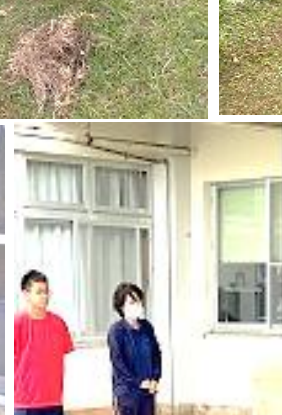
挨拶・返事・後始末

元気の挨拶は相手を
思いやる優しさ

物事をやり抜く力
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

12月7日（火）14:05～15:55
約2時間ほど毎年恒例の南風見苑年末大掃除に行って参りました。生徒45名大所帯だけあって、庭の草刈り、花壇の植え付けや窓・網のクリーン作業等、例年行き届かない所まで時間内に終わることができました。お役に立てたこと嬉しく思います。



船中生のボランティア活動に触れ、頼もしい中学生の働きに
←上里さんより感謝のお言葉とお礼のおやつ頂きました。

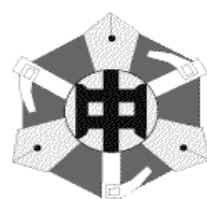
沃野

発行

12月 第32号

船浦中学校

校長 宮城裕子



12月7日(水)5校時
14:05～本校1学年の
道徳の授業で、上原小学
校の先生と八教事の指
導主事マック先生をお招
きし、小中合同の授業研
究会を持ちました。教材
名「私は掃除のプロにな
る」から『勤労』について
一年生ならではの視点
で考える契機になっ
たのではと思われ
ます。去る10月
に職場体験活動で
地域の事業所にお
世話になりましたが、
プロの仕事ぶりを
振り返ったり、心
のこもった仕事と
は？等、様々な意見
が交わされました。



◀中学生にな
って成長した姿
が見られたでし
ょうか？「お金
儲けも必要だ
けど、それだけ
じゃない？」

12月7日第11回スピーチ集会での発表原稿を下記にご紹介します。ご一読ください。

「たかが雑学、されど雑学」... 理花さん

スピーチ集会

雑学とは何かみなさんは知っていますか？雑学とは多方面にわたるまとまりのない知識や学問とは関係ない雑多な知識です。だれもが知っているべき、一般常識も雑学の一部にふくまれることもあります。役には立たず、興味あることとして取り扱われたりもしますが、無駄な知識の集まりでもあります。しかし、中には感心させられることも多くあります。人を楽しませる道具として雑学を沢山知っている人もいます。そしてどうでもいい雑学でも人にとってはこのことについて調べ研究する人もいるのですから不思議です。みなさんは何か雑学を知っていますか？暇つぶしに見ていた雑学の中で私が「へ～」と思ったことをいくつか紹介します。まずは、ビール一杯で百万個の脳細胞が死ぬ。ビール好きの先生方、飲みすぎには気をつけてください。脳細胞が死んじゃいますよ。というのはウソのようです。しかし、純度100%のアルコールはアルコール消毒等に使用されており、細胞や細菌を死滅させる効果があります。100%アルコールを飲む機会はないと思いますが、お酒の飲みすぎには気を付けましょう。二つ目は、スポーツブランドには、ナイキやアディダスなど数多くありますが、みなさんは何が好きですか？そのスポーツブランドで有名なプーマとアディダスですが、実は創業者はドイツ人の兄弟だそうです。しかし、この兄弟は、第二次世界大戦がかかわったことにより、ケンカ勃発。二人は仲直りできないまま天国へ。三つ目 みなさん、ラーメンは袋めん派？カップめん派？どちらですか？インスタントラーメンは袋めんの方がめんがめんの量が多くなっています。これは袋めんが食事に作られているのに対して、カップラーメンは間食用につくられているためです。しかし、間食でラーメンは、けっこうお腹いっぱいになりますよね。そんなラーメンを夜食にしているあなたに！世界一カロリーの高い野菜、きゅうりを食べましょう。きゅうりは低カロリーのやさしいとしてギネス登録されているそうですよ。知れば知るほどおもしろい雑学の話でした。たかが雑学、されど雑学。

航洋さん

「ゴールへ」

皆さんは、「走る」ということが好きですか？たぶん嫌いな人が多いと思います。その理由は、つかれるから、きつから、ということだと思います。ぼくたち駅伝チームは去る十月一日に行われた八重山地区駅伝大会に向けて夏から二キロ走を頑張ってきました。ぼくはBチームのアンカーだったのでみんながつないでくれたタスキをしっかりとゴールに運ぶという一番大切な役割でした。練習の時、二百メートルインターバルや最初の三キロ走(船浦中からナガラ橋のところまで)は正直きつくて大変だったけれど、「二週間」という長いようでとても短い時間をきつくてつかれるのを頑張って走っているうちに、「きつい、つかれる」が『楽しい！』に変わっていきました。練習のときのタイムもジョジョに上がっていきました。最初は十二分二十秒くらいだったけれど、二週間後には十二分九秒まで十二秒もタイムが縮まりました。ぼくは、みんなが頑張って走ってタスキをつないでくれたのでそれを一生懸命ゴールに届けられるよう、タスキをもらったらすぐ走れるようにアップから気合いを入れて頑張りました。タスキをもらい、坂を上り下りして、一人目が見えたところで後ろに貼りついて相手のペースが落ちてきたら抜いて、進んでいくと二人目が陸上競技場に入って行ったのを見てペースを上げました。相手の後ろに貼りついて三秒後くらいに八割で抜いて、残りの半周(二百メートルくらい)を五割くらいで走り、最後の百メートルを十割(百パーセント)で走り、総合七位でゴールしました。このように皆さんも最後まであきらめずに「走らされている」と思わず、「自分のために走っている」と思いながら、走ってみませんか？